

ELSIから考える 科学技術の世界と社会

明治大学先端科学ELSI研究所
第73回モビリティDX研究会(第3回ミニシンポジウム)

開会挨拶

明治大学商学部教授 中林真理子
明治大学先端科学ELSI研究所 所員
明治大学自動運転社会総合研究所 前所長

2024年8月23日(金)10:00-17:05
明治大学グローバルホール



明治大学
先端科学ELSI研究所
第73回
モビリティDX研究会
第3回ミニシンポジウム
(NEDO-SIP第3期
「スマートモビリティ
プラットフォームの構築」)

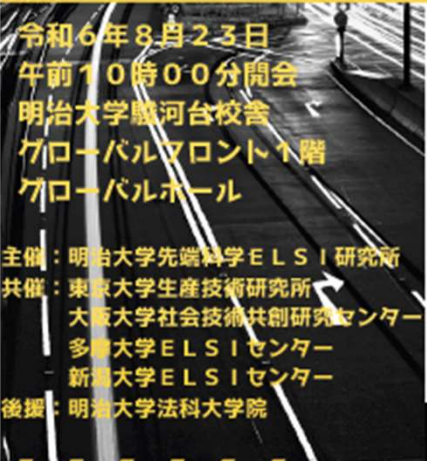


先端科学技術の実装 と社会の調和の鍵

近時、AI技術の急速な発展をはじめとした、様々な先端科学技術の社会実装が急速に進んでいる。
一方で、無計画な先端科学技術の社会実装は、様々な社会的な葛藤を生むこととなり、我々に様々な課題の解決を迫って来ている。
一方、日本企業は、グローバルな競争環境のもと、既存技術の創意工夫ではなく、全く新しいイノベーションを生み出すことを求められているが、成功するに至っていない。
これは、日本社会が課題に直面をするのを恐れ、挑戦することを怠っているからに他ならない。
これらの新たな課題に対応するためには、理工系のみならず、人文科学系の学問が蓄積してきた成果をも活用していく必要がある。
各大学のELSIセンターは、この課題に立ち向かうため、学術と産業界を跨いだ活動を始めている。
その一端をここに示す。

「ELSIから考える 科学技術の世界 と社会」

- ・各大学のELSIセンターの活動報告
- ・「ELSIを踏まえた自動運転技術の現場に即した社会実装手法の構築
- ・SIP第3期「モビリティプラットフォームの構築」に関する活動



令和6年8月23日
午前10時00分開会
明治大学臨河台校舎
グローバルマロント1階
グローバルホール

主催：明治大学先端科学ELSI研究所
共催：東京大学生産技術研究所
大阪大学社会技術共創研究センター
多摩大学ELSIセンター
新潟大学ELSIセンター
後援：明治大学法科大学院

MAIN SPEAKERS



(基調講演)
榊原隆馬准教授
Ryuma Shineha
大阪大学
社会技術共創研究センター



中野公彦教授
Nakano Kimihiko
東京大学
生産技術研究所

(お問い合わせ先) yoshida@atagoya
☎ 03-6205-4573 ✉ ma-law.jp

スケジュール

- 10:00 開会挨拶 明治大学商学部 中林真理子教授 (明治大学自動運転社会総合研究所前所長)
- 10:10 ELSIとは？大阪大学社会技術社会技術共創研究センター の活動と挑戦
大阪大学社会技術共創研究センター 標葉 隆馬 准教授
- 11:35 「『ELSIを踏まえた自動運転技術の現場に即した社会実装手法の構築』」について
東京大学生産技術研究所 中野公彦教授
- 13:00 倫理面から考える「自動運転」について
実践女子大学人間社会学部社会デザイン学科 筒井晴香 准教授
- 13:25 データから見た自動運転技術や自動車社会の問題点について
東京大学生産技術研究所 霜野慧亮 特任助教
- 13:50 法律と保険から考える自動運転について・SIP第3期の活動
明治大学先端科学ELSI研究所 中林真理子所員、吉田直可 客員研究員
- 14:15 質疑応答
- 14:50 多摩大学ELSIセンターの活動について・SIP第3期の活動
多摩大学経営情報学部 樋笠堯士 准教授、多摩大学経営情報学部 田中友理 専任講師
- 15:25 新潟大学ELSIセンターの活動について 新潟大学法学部 根津洸希 助教
- 15:50 ELSIの取り組みに期待すること BOLDLY株式会社
- 16:15 座談会（ELSIが返る学術界・産業界との関係性）
- 17:05 閉会挨拶 明治大学法科大学院 中山幸二教授（明治大学先端技術ELSI研究所所長）



1. 明治大学先端科学ELSI研究所について

□ 2018年3月～2023年3月 明治大学自動運転社会総合研究所 (Meiji Institute of Autonomous Driving : MIAD)

少子高齢化・過疎化といった社会的課題に新技術を活用



自動運転技術の活用を推進、自動運転を実装した社会を実現



車輦等の自動運転技術は、その社会への実装に向けた各分野の専門知の糾合が急がれる状況にある。



学内の資源を結び付ける（技術・法律・保険・地方創生と多岐にわたる課題を有機的に融合させた研究拠点）



□ 2023年7月 明治大学先端科学ELSI研究所 (Institute of Autonomous Driving and ELSI) 設立

自動運転と先端科学の社会実装化に向けた倫理的・法的・社会的な諸課題（ELSI）
の検討と政策提言に関する総合的研究



2. 本日のシンポジウムの位置づけ

明治大学先端科学ELSI研究所 モビリティDX研究会（旧 社会実装研究会）

- 2018年より毎月第3木曜日に開催（今回が通算73回目）
広く、技術開発/MaaS/まちづくり/住民参加/保険制度/ガバナンス等の視点から問題提起とディスカッションを重ねる
- 3年前より8月はミニシンポジウムを開催
 - 第1回（2022年 第1回MIAD海外シンポジウム）
 - 第2回（2023年 第2回MIAD海外シンポジウム）
 - 第3回（本日開催 ELSIから考える科学技術の世界と社会）



3. ELSI研究 JST RISTEX研究開発プロジェクト

□ 科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的实践 研究開発プログラム（RInCA）

プロジェクト概要

本プロジェクトは、自動運転技術の開発・実証研究と連動しながら、リスクとベネフィットの適切な理解に基づく新興技術のトランジション・モデルを提案します。

全国の自動運転実証実験の情報収集とともに、自動運転バスの実証実験を実施し、それに基づく科学技術コミュニケーションを実践します。また、事故発生時の客観的な証拠に基づく紛争解決のための法・補償制度の方法論を確立します。さらに、自動車という科学技術を受け入れてきた歴史的・社会的検討を行い、新興技術の社会受容に関する評価を行います。安全・安心、信頼と責任、公平性、プライバシーなどの倫理的課題に着目し、日本の地域社会の価値観に根差しながら、開発者と市民・ステークホルダーとの対話を実践し、社会インフラとしてのこれからの自動運転技術の実装の在り方を検討します。

- 参画・協力機関：東京大学 生産技術研究所/未来ビジョン研究センター/大学院総合文化研究科, 明治大学 自動運転社会総合研究所, 筑波大学 システム情報系, 東北大学, 群馬大学, 東京理科大学, 京都大学
- キーワード：自動車, 自動運転, 科学技術コミュニケーション, 法・保険, 社会受容性
- 研究開発期間：2020年9月～2024年3月（進行中）
- Grant 番号：JPMJRX20J4



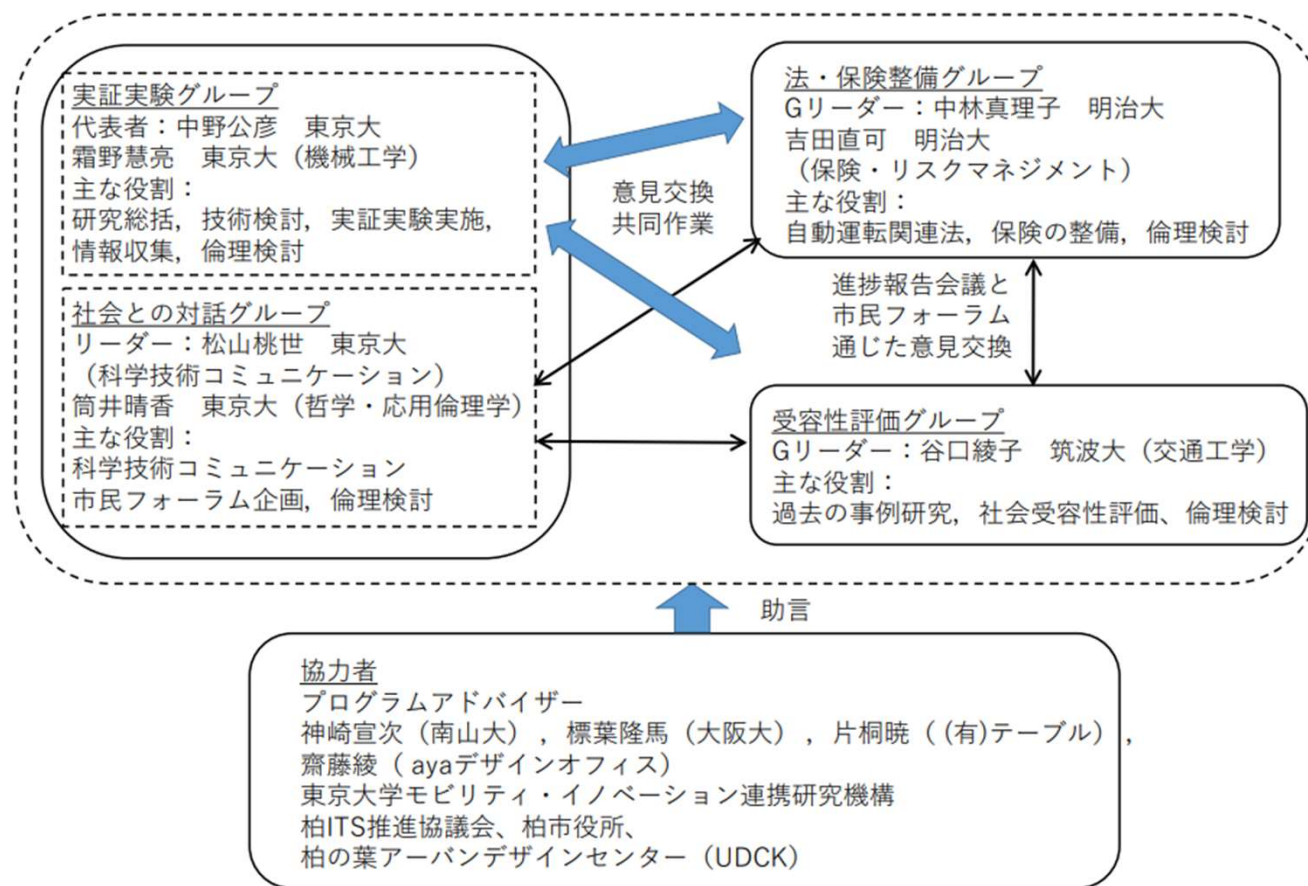
中野 公彦

東京大学 生産技術研究所
教授



3. ELSI研究 JST RISTEX研究開発プロジェクト

□ 研究実施体制



〈実施体制図〉

出典：社会技術研究開発
「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題
（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム」
「ELSIを踏まえた自動運転技術の現場に即した社会実装手法の構築」
研究開発プロジェクト 終了報告書p.21



4. JST RISTEX-ELSIからNEDO SIP3へ

□ 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期／スマートモビリティプラットフォームの構築



本事業では、モビリティサービスの再定義と社会実装に向けた戦略策定を進めるとともに、インフラのリ・デザインに向けた研究開発により、安全、快適、活気あふれる交通インフラ技術の開発、モビリティサービスを支えるデータ基盤構築等を実施します。

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期／スマートモビリティプラットフォームの構築
実施先・実施テーマ一覧

社会需要性・法制度・ステークホルダー調整を軸にしたスマートモビリティプラットフォームの社会実装及びスマートモビリティプラットフォームを支える人材発掘・育成プログラムの開発	BOLDLY株式会社	学校法人明治大学 先端科学 ELSI 研究所 国立大学法人室蘭工業大学 多摩大学 学校法人同志社 住友商事株式会社 株式会社住商アビーム自動車総合研究所
---	------------	---

5. 本日のシンポジウムの目的

- 現在参加している「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期／スマートモビリティプラットフォームの構築」の研究にELSIの視点を活かしていくために・・・
- 昨年度まで参加していた「ELSIを踏まえた自動運転技術の現場に即した社会実装手法の構築」の総括
- 各大学で発足しているELSIセンターの取り組みの紹介
- 参加者の皆様と活発な議論

